

◆ 今週のコメント

- RSウイルス感染症の定点当たり報告数は1.02(42例)で、第34週(8月20日～8月26日)以降、5週連続で増加しており、依然として、過去5年平均値を大幅に上回っています。「感染症法」において定点把握対象に指定された平成16年以降の同時期と比較して、最も多い報告数です。引き続き今後の動向に御注意ください。
- 水痘の定点当たり報告数は0.51(21例)で、先週(0.34, 14例)より増加しています。年齢階級別では、2歳(6例)、1歳及び3歳(各4例)、6箇月～11箇月及び4歳(各2例)の順に多く、1歳～4歳が85.7%を占めています。
- 手足口病の定点当たり報告数は0.34(14例)で、3週連続で増加しています。年齢階級別では、1歳(6例)、6箇月～11箇月(4例)の順に多く、1歳以下で71.4%を占めています。

◆ 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(男性 70歳代, 女性 10歳未満)あり、4週連続の報告となります。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類: 結核 7例(肺結核 5例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 4例
【1月以降の累積報告数 336例(肺結核 136例, その他結核 75例, 潜在性結核感染者 125例)うち喀痰塗抹陽性 69例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 21例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.73	71
	② RSウイルス感染症	1.02	42
	③ 水痘	0.51	21
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.46	19
	⑤ 突発性発しん	0.44	18
眼科	流行性角結膜炎	1.00	10

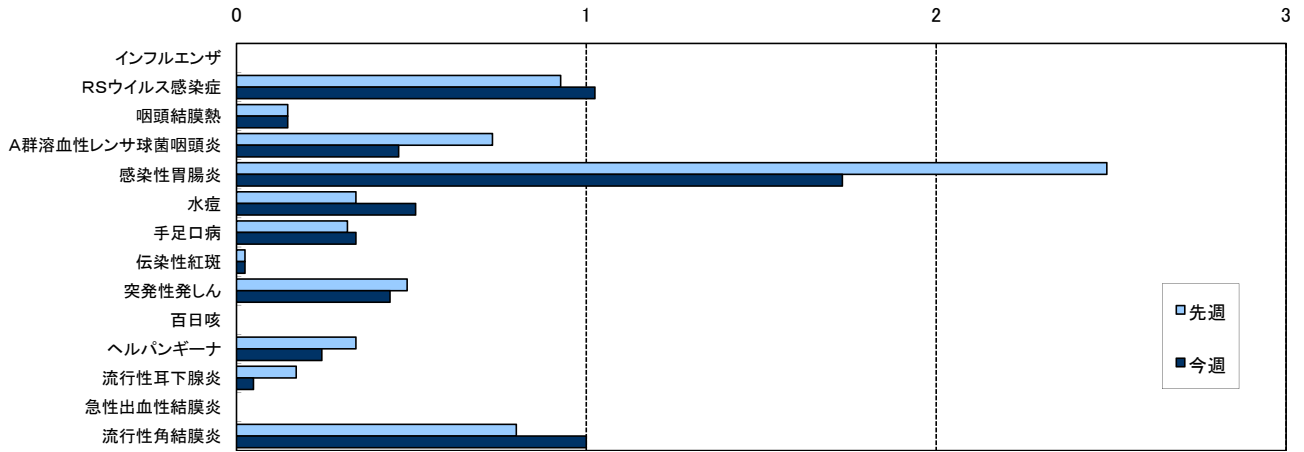
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

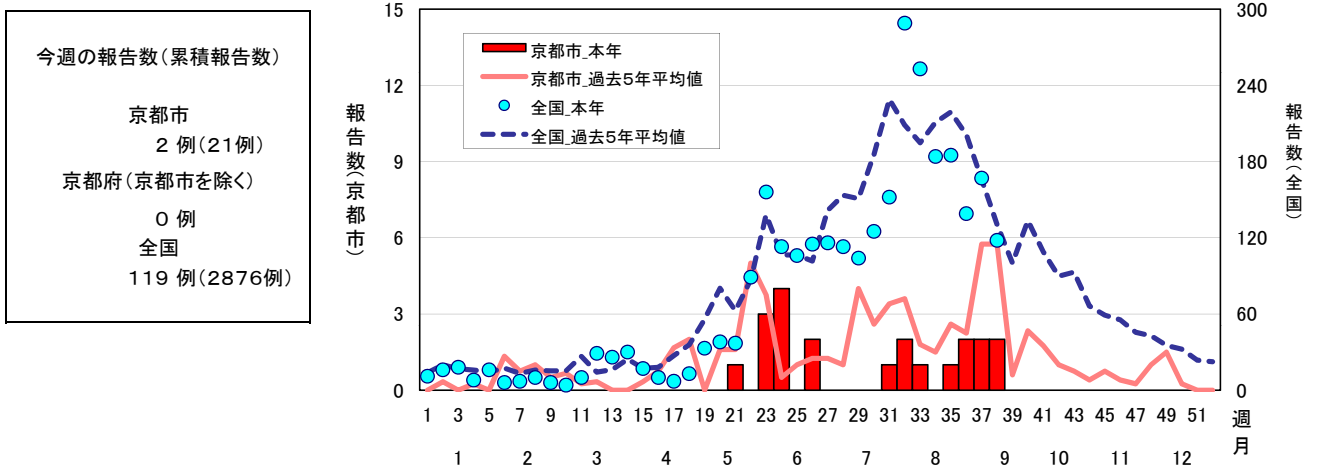
(注) 京都市のデータは、平成24年9月27日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第38週)と先週(第37週)の定点当たり報告数の比較

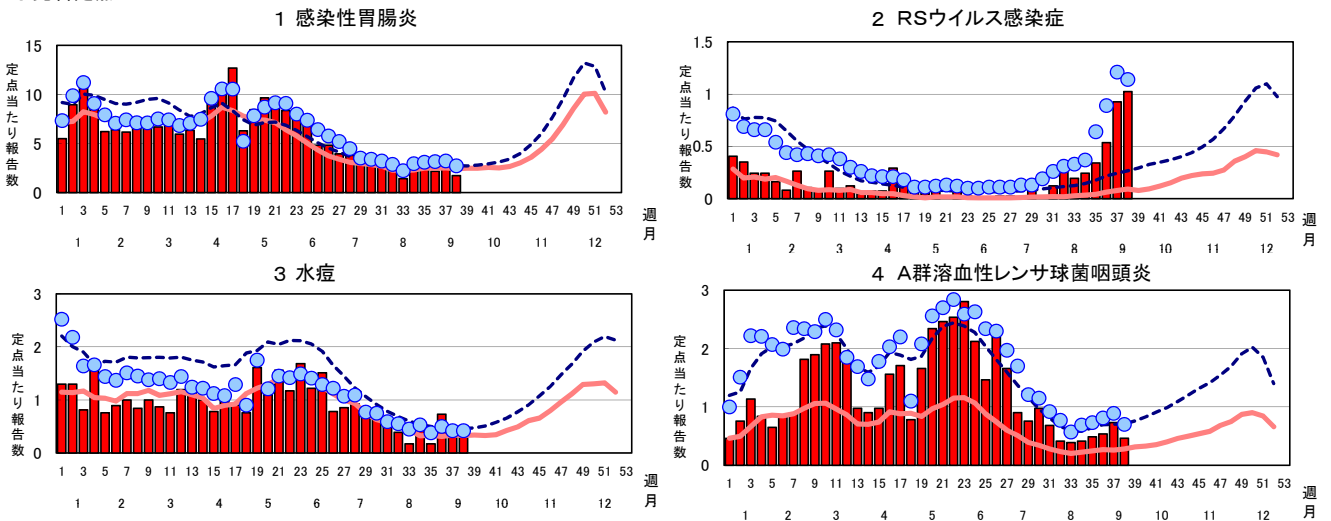


2 腸管出血性大腸菌感染症の推移

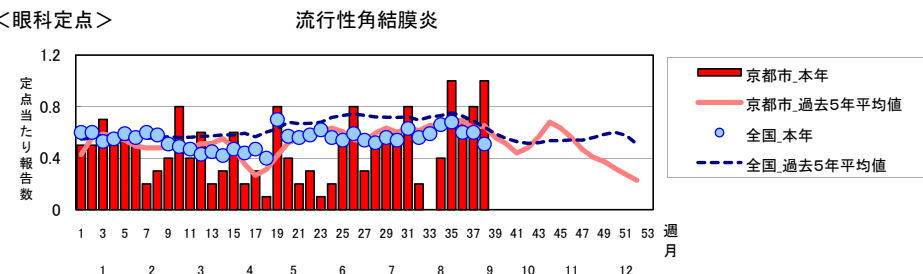


3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>

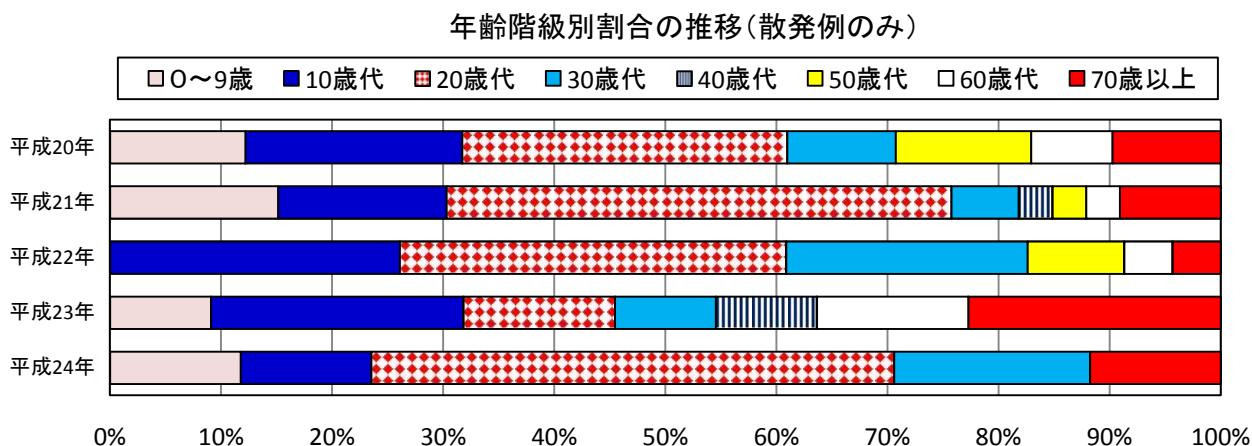
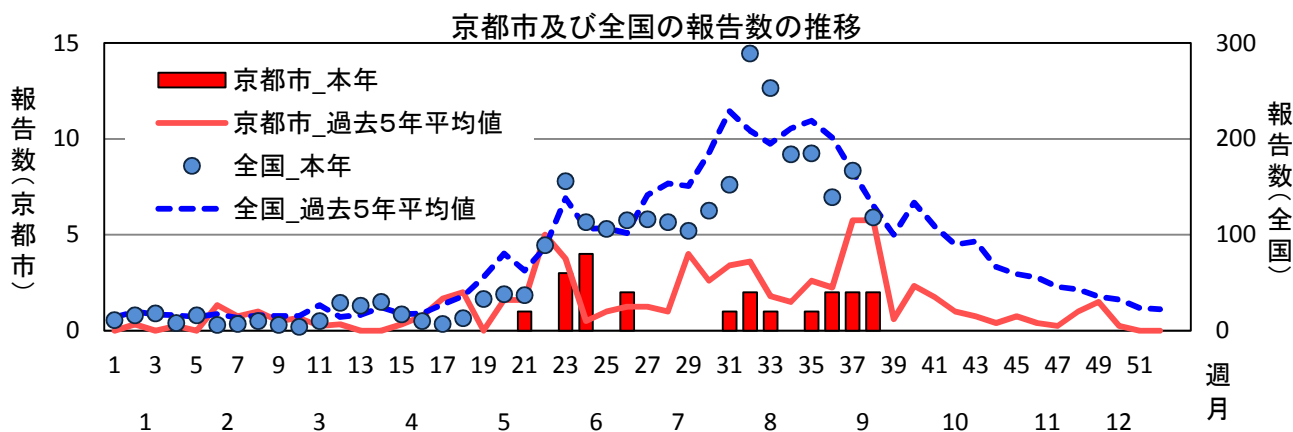


第38週(9月17日～9月23日)トピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(男性 70歳代, 女性 10歳未満)あり, 4週連続の報告となります。血清型別・毒素型は, 共にO157・VT2です。推定感染経路は, 接触感染及び経口感染です。

本年の累積報告数は21例になっています。散発17例, 家族4例で, 性別は, 女性12例, 男性9例です。年齢階級別(散発例のみ)では, 20歳代の占める割合(47.1%)が大きくなっています。

血清型別・毒素型は, O157(VT1VT2)が12例, O157(VT2)4例, O157(VT1)1例, O145(VT1)1例, O165(VT2)1例, HUS(溶血性尿毒症症候群)発症で不明が2例です。



京都市における診断年別 型別報告数

診断年	合計	O1	O26	O86	O91	O103	O111	O121	O145	O157	O165	その他
平成11年4月以降	26	1								25		
平成12年	33		8							25		
平成13年	52		8				1			43		
平成14年	35					1				32	1	O型別不明が各1例
平成15年	101		5							96		
平成16年	48		2					4		42		
平成17年	36		5		1					30		
平成18年	57		2					1		54		
平成19年	54		2				3			49		
平成20年	86		34			5	2		3	41		HUS患者で型別不明が1例
平成21年	93		8		1		3	1	1	79		
平成22年	34		1			1	2			30		
平成23年	34			1			1		1	30		HUS患者で型別不明が1例
平成24年第38週まで	21								1	17	1	HUS患者で型別不明が2例